

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	デッドアイ	Lv.1:		レベル	21
サポートクラス	レンジャー	Lv.1:	ニンジャ	性別	女の子
称号クラス				年齢	わかい
種族	グライアイ			境遇	出世
出自 (効果)	冒険者			目標	人探し/世界の敵

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	34	9	8	34	8	31
ボーナス	4	11	3	2	11	2	10
クラス修正	1	4	0	0	2	0	1
他修正							1
能力値	5	15	3	2	13	2	12

HP	166
MP	188
フェイト	16

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	黒々弦(伝承)	30m	-2	CL+7+5+1				0	
左手									
頭部									
胴部	シャドウブレイカー					8			0
補助	トリックマント					5			
装身具	フォレストシンボル								
能力値			15	0	3	0	2	16	10
スキル	パッシブ		6	35					
その他	アイテム							3	
総計(右)			19	35					
総計(左)			21	35	3	13	2	19	10
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	13			13	+ 3 d
トラップ解除	15			15	+ 3 d
危険感知	13			13	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
抵抗:威圧のクリスタル	ポーションホルダー
抵抗:スリップのクリスタル	GMPP*5
異次元バッグ	冒険者セット
ベルトポーチ	聖水*2
	万能薬*3
小道具入れ	ウーツの矢*10
幸運の鍵	
漆黒の星	
風読みの羽	

現在重量:	34	所持金:	159685	預金・借金:	
最大重量:	36				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
グライアイ:ショットアイ	★	5	セット	-	自身	自動成功		
効果:	射撃攻撃の命中+1D、ラウンド終了まで							
インタラプト	1	-	効果参照	視界	単体	自動成功	シナリオ回	
効果:	スキルの宣言時、打消し							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲選択	命中判定		
効果:	武器攻撃。対象が2体以上の時、ダメージ+2							
ピアシングストライク	3	5	DR直前	-	自身	自動成功		
効果:	ダメージ+3D							
スペシャライズ:弓	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	弓を使用した命中判定・ダメージに+5							
ウェポンフォーカス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	弓でのダメージに+5							
バタフライダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	回避+1D							
	★							
効果:								
ミラーアタック	1	-	判定直後	-	自身	自動成功		
効果:	攻撃の命中判定の直後に使用。フェイトを3点消費。出目ひとつを6にする。							
コンシールアタック	3	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	隠密時、命中+1D、ダメージ+3D							
マーダースキル	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	クリティカル時、ダメージ+6D							
ソウルコンバート	1	-	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	「フェイトをn点消費する」スキルと同時に使用。フェイト1点につきMP10点を消費することでフェイトの代わりにできる。							
ディスアピア	1	3	マイナー	-	自身	自動成功		
効果:	隠密状態になる							
フェイドアウェイ	1	3	ムーヴ	-	自身	自動成功		
効果:	離脱を行う。マイナーは使える。							
アームズマスタリー:弓	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	弓を使用した命中判定に+1D							

グライアイの少女。
ヒューリンの冒険者を探している。
その運命にひしひしと暗がりを感じるが、本人は至って元気。

彼女が育ったグライアイの里は閉ざされた世界だったが、冒険者である彼の来訪をきっかけに外の世界への興味を持ってしまった。彼の冒険の語りを聞くうちに、すっかり懐いてしまった少女は、こっそりと里を抜け出して彼の仕事を追った。彼が獣道を切り進み、禁足の洞窟に入ろうとするところで、つけていた少女は彼を留めようとして見つかってしまう。その時、少女に何か、洞窟の奥へと引力が働く。悪寒を感じ取った冒険者は少女を引き留めようとするものの、強い力に囚われた少女が留まることはなかった。冒険者は離脱を諦め、少女を護衛しつつ奥地へと向かった。最奥には、禍々しい殺気を放つ、真っ黒な弓が埋もれていた。冒険者の目的はこの弓の処分だったが、ヒューリンである彼には、それを触れることができなかった。彼が手こずるのをよそに、少女が弓に触れてしまう。すると、あっさりと弓は持ち上がり、その殺気は随分と抑えられた。まるで弓が、少女をずっと、待っていたようだった。彼女は常人離れた視力を持ち、弓手となるには絶好の才能があった。冒険者は全てを察した。彼女は彼女の運命はきつと、この弓と一体の、宿命を辿るのだろう。彼は少女を里に連れ戻し、里の長に全てを語った。「この子の道行きは、世界の脅威にさえなりかねない。この弓を十全に扱えるようになるまで、僕が預かります」里長は、代々伝えられてきた恐ろしい伝承が事実である可能性を鑑み、冒険者の提案を了承した。こうして少女は、運命の鎖に繋がれたものの、外の世界へ羽を広げることになったのだった。

